

## 2. 底生動物調査結果の概要

## 底生動物調査結果の概要

### (1) 分布状況からみた河川環境の特徴

今回とりまとめを行った 22 水系 25 河川で確認された底生動物は、貝類等の軟体動物、ミミズ等の環形動物、およびエビ類、昆虫類等の節足動物等 62 目 247 科 860 種でした。確認種数が多かった一級河川は、中部地方の宮川の 314 種、東北地方の米代川の 313 種、中部地方の天竜川の 297 種などでした。

### (2) 特定種一覧

今回とりまとめを行った 25 河川で確認された特定種は、レッドリスト絶滅危惧種 I 類に指定されているオオモノサシトンボ、コガタノゲンゴロウ、ヨコミゾドロムシ、絶滅危惧種 II 類に指定されているクルマヒラマキガイ、ヒガタスナホリムシ、ゲンバイトンボ、キイロヤマトンボ、タガメ等 29 種でした。

#### (注) 特定種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を特定種としました。

- 「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種および緊急指定種
- 環境省（庁）編「レッドリスト」掲載種（2000）

### (3) 外来種一覧

今回とりまとめを行った 23 河川で確認された外来種は、ハブタエモノアラガイ、サカマキガイやコウロエンカワヒバリガイ、アメリカザリガニ等の 17 種でした。

#### (注) 外来種の選定基準について

本資料における外来種とは、おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物全てを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、困難な種があるため選定の際に考慮していません。また、外来種の選定には、資料 I. 6 (26～27 ページ) および 28 ページに掲載した文献と学識者による意見を参考に行っています。